

第2章

調査実施の概要

1 調査の目的

社会状況や教育環境が変化する中で、長崎県の児童生徒の社会性・規範意識に関する実態、及び保護者・教員の意識を調査し、学校の教育活動及び地域社会、家庭の教育力の向上・改善に資する。

2 調査対象者

(1)対象児童生徒学年

小学校第5学年児童、中学校第2学年生徒、高等学校第2学年生徒（私立学校を含む。）

(2)保護者

上記(1)の各学校の児童生徒の保護者

(3)教員

上記(1)の各学校の教員

3 調査領域

(1)基本的属性 (2)家庭生活 (3)学校生活 (4)人間関係 (5)規範意識 (6)社会生活 ほか

4 調査方法等

(1)調査方法

- ・児童生徒及び保護者 質問紙法による調査
- ・教員 インターネットによる調査

(2)回収数

ア 小学校第5学年児童	県内小学校第5学年児童	14,835人の内	776人
イ 中学校第2学年生徒	県内中学校第2学年生徒	15,688人の内	782人
ウ 高等学校第2学年生徒	県内高等学校第2学年生徒	14,678人の内	769人
エ 上記アイウの保護者			2,188人
オ 上記アイウの教員			727人

5 調査時期

平成19年7月9日(月)～8月10日(金)の5週間

6 サンプル構成

(1)児童生徒の学年別構成

人数, (%)

対象	学年	小学 5年生	中学 2年生	高等学校 2年生	計
男子		377(48.6)	388(49.6)	362(47.1)	1,127(48.4)
女子		395(50.9)	394(50.4)	403(52.4)	1,192(51.2)
不明		4(0.5)	0(0.0)	4(0.5)	8(0.4)
計		776(100.0)	782(100.0)	769(100.0)	2,327(100.0)

(2)教員の年齢別構成

人数, (%…校種別の合計人数をもとにした割合)

校種別	年齢別		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
	男性	女性						
小学校 教員	男性		7(2.1)	45(13.8)	81(24.8)	12(3.7)	9(2.8)	154(47.2)
	女性		20(6.1)	39(12.0)	71(21.8)	38(11.7)	4(1.2)	172(52.8)
	不明		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計		27(8.3)	84(25.8)	152(46.6)	50(15.3)	13(4.0)	326(100.0)
中学校 教員	男性		17(6.9)	40(16.3)	42(17.1)	23(9.4)	9(3.7)	131(53.5)
	女性		20(8.2)	39(15.9)	36(14.7)	15(6.1)	4(1.6)	114(46.5)
	不明		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計		37(15.1)	79(32.2)	78(31.8)	38(15.5)	13(5.3)	245(100.0)
高等学校 教員	男性		20(12.8)	26(17.7)	34(21.8)	15(9.6)	4(2.6)	99(63.5)
	女性		18(11.5)	21(13.5)	14(9.0)	4(2.6)	0(0.0)	57(36.5)
	不明		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計		38(24.4)	47(30.1)	48(30.8)	19(12.2)	4(2.6)	156(100.0)

(3) 保護者の年齢別構成

人数, (%…校種別の合計人数をもとにした割合)

年齢別 校種別		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	不明	計
小学校 5年生の 保護者	男性	3(0.4)	164(21.9)	179(23.9)	17(2.3)	2(0.3)	3(0.4)	368(49.1)
	女性	6(0.8)	150(20.0)	212(28.3)	12(1.6)	1(0.1)	0(0.0)	381(50.9)
	不明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	9(1.2)	314(41.9)	391(52.2)	29(3.9)	3(0.4)	3(0.4)	749(100.0)
中学校 2年生の 保護者	男性	0(0.0)	90(12.2)	221(30.1)	33(4.5)	3(0.4)	4(0.5)	351(47.8)
	女性	3(0.4)	85(11.6)	255(34.7)	35(4.8)	3(0.4)	1(0.1)	382(52.0)
	不明	0(0.0)	0(0.0)	1(0.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.1)	2(0.3)
	計	3(0.4)	175(23.8)	477(64.9)	68(9.3)	6(0.8)	6(0.8)	735(100.0)
高等学校 2年生の 保護者	男性	0(0.0)	16(2.3)	216(30.7)	72(10.2)	5(0.7)	12(1.7)	321(45.6)
	女性	0(0.0)	21(3.0)	271(38.5)	73(10.4)	5(0.7)	13(1.8)	383(54.4)
	不明	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	0(0.0)	37(5.3)	487(69.2)	145(20.6)	10(1.4)	25(3.6)	704(100.0)

(4) 児童生徒, 教員, 保護者の地区別構成

人数(%)

		都市部	市・郡部	離島部	不明	計
児童生徒	小学校5年生	16校 443(57.1)	11校 179(23.1)	8校 151(19.5)	3(0.4)	35校 776(100.0)
	中学校2年生	14校 531(67.9)	8校 109(13.9)	6校 138(17.6)	4(0.5)	28校 782(100.0)
	高校2年生	10校 429(55.8)	5校 201(26.1)	3校 135(17.6)	4(0.5)	18校 769(100.0)
	児童生徒計	40校 1,403(60.3)	24校 489(21.0)	17校 424(18.2)	11(0.5)	81校 2,327(100.0)
教員	小学校教員	195(59.8)	61(18.7)	70(21.5)	0(0.0)	326(100.0)
	中学校教員	154(62.9)	38(15.5)	53(21.6)	0(0.0)	245(100.0)
	高校教員	90(57.7)	37(23.7)	29(18.6)	0(0.0)	156(100.0)
	教員計	439(60.4)	136(18.7)	152(20.9)	0(0.0)	727(100.0)
保護者	小学生保護者	427(57.0)	168(22.4)	146(19.5)	8(1.1)	749(100.0)
	中学生保護者	497(67.6)	105(14.3)	123(16.7)	10(1.4)	735(100.0)
	高校生保護者	409(58.1)	151(21.4)	113(16.1)	31(4.4)	704(100.0)
	保護者計	1,333(60.9)	424(19.4)	382(17.5)	49(2.2)	2,188(100.0)

※1 設問の問いや選択肢は, それぞれの学年に応じて表現を変えている。

※2 地区別の区分は, 市町村合併前の区分による。

「都市部」…(旧)長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・大村市

「市・郡部」…(旧)平戸市・松浦市

(旧)西彼杵郡・東彼杵郡・北高来郡・南高来郡・北松浦郡

「離島部」…(旧)福江市・南松浦郡・上県郡・下県郡・壱岐郡

※3 平成14年度調査との比較を可能な限り適正に行うために, 以下の点に配慮した。

① 対象母集団の性質を前回と同じとした。

② 母集団構成比が前回と同じようにした。

③ アンケート調査に関して, 回答時間を同じとした。

④ アンケート調査の回答数をできる限り同じとした。ただし, 小学校5年生及び中学校2年生の児童生徒に対して, 2問(メール使用に関する項目)追加した。

⑤ アンケート調査項目の順序や構成を前回と同じとした。